

4/27 勝浦支部  
第6回  
定期委員会

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！  
反合・運転保安を軸に  
恒常的な職場闘争の強化を

勝浦支部第六回定期委員会は、4月27日、13時より役員・委員・傍聴者多数参加するなかで開催され、当面の活動方針と84年度暫定予算を決定しました。

中曽根の臨調攻撃と対決しよう

委員会は、議長に高梨一夫委員を選出して始められました。

最初に、鶴岡支部長より、「今日、中曽根内閣の臨調Ⅱ行革の一環として、国鉄労働者への攻撃が様々なかたちで行われてきている。われわれは、その中曽根の臨調攻撃との闘いをさけて通るわけにはいかない。平野雅夫君の尊い生命を奪った30事故は、われわれの運転保安の要求に耳をかさず、効率化のみを優先させた、国鉄当局に一切の責任がある。動労『本部』革マルによる動乗勤の裏切りを弾劾し、われわれはそれをのりこえて、運転保安確立闘争を中心に、臨調攻撃に対決していく方針をうち固めよう。執行部は先頭で闘う」とのあいさつをうけました。

恒常的な反合運転保安闘争の強化を決定

つづいて、支部執行部より支部大会以降の主な経過として、①83秋年闘争、②昇給協定改悪阻止の闘い、③59・2ダイ改阻止の闘い、④84春闘、⑤内達―動乗勤改悪阻止闘争、⑥反合運転保安確立の闘い、とりわけ、3月30日に発生した平野君「殉職」事故に対する取り組み等について報告され、討論に移りました。

そして、当面の方針として、中曽根内閣の臨調攻撃と対決して、反合運転保安確立を中心とした恒常的な職場抵抗闘争の強化をかちとつていくことを全員で確認しました。

84年度暫定予算および、互助会規則案、旅費支給規則案が提案され、次期大会までに職場討議していくことが決定されました。また、委員より、執行手当の増額の意見が出され、専門委員会の設

幕張支部検査検修分科  
第2回総会を開催

支部通信員発

四月十六日、支部検査検修分科会は総会を圧倒的多数の出席の中でかちとりました。

参加者全員は、3・25三里塚大動員の達成と春闘・反合をとりくむ中からいつそう団結をかためてきていること

が明確にされ、今後分科役員を全体が支え、奮闘していくことが満場一致で決められました。

課題として、①職場規律Ⅱ第2マル生粉碎、②組織強化、③動労「本部」革マル粉碎！

動労千葉結成5周年記念集会(4月28日)の一幕より



好評だった「動労千葉5年間の歩み・パネル展」  
(各職場での展示を希望する支部は、本部に申し込んで下さい)

\* 当面するスケジュール

- 5月10日 一九八三年度交渉部長会議
- 11日 乗務員分科第五回常任委員会
- 12日 動労千葉労働学校 開校式
- 14日 サークル協 釣大会
- 15日 サンケイ公判
- 16日 サークル協 ボーリング大会
- 17日 第9回 臨時委員会
- 20日 三里塚全国総決起集会
- 23日 狭山闘争
- 第18回 中野公判
- 24日 サークル協 ソフトボール大会
- 28日 「6・12公判」控訴審第一回公判

土屋一派一掃、④検修反合、⑤待遇改善、等々のとりくみを力強く決定しました。

特に、動労「本部」革マルの「働こう運動」による合理化率先協力の裏切りにつぐ裏切りと、当局の尖兵としてのひらき直りに、組合員の怒りは頂点に達しています。彼らを絶対に許さず、解体・一掃のため奮闘することを全体で確認して閉会しました。